



与論小だより



ブログはこちらから

学校教育目標：校訓「至誠」を胸に、未来に挑む子供の育成

9月のミッション

校長 岩元 輝美

2学期が始まり、学校に子供たちの元気な声が響き渡っています。

夏休み中、子供たち一人一人が私との約束「自分の命や健康は自分で守る」を果たし、大きな事故やけがもなく過ごしてくれた証です。もちろん、そこには家庭や地域の力強い支えがあったことは言うまでもありません。心から感謝申し上げます。



さて、今月最大のミッションと言えば、運動会への取り組みです。校庭のトラック上を必死に駆け抜ける子供たちの姿を目にします。どの学年も、走り方を学びながら、リレー等の学習を通して「走の運動」に取り組んでいます。気温の高い日が続いていますが、水分補給をしたり日陰で指示を聞いたりしながら、運動会に向けて全力疾走です。また、本校の運動会での伝統である「十五夜踊り・エイサー」の練習も保存会等の皆様の御協力により始まりました。子供たちが疲れて帰る日も増えると思いますが、お子さんの体調に気をつけながらも、ぜひ励ましていただければと思います。

ところで、「ミッション」と少し大げさに名付けた運動会への取り組みですが、子供たちの成長にとって、本当に大切なミッションであると思います。運動会は学校行事の中でも目立つ、華やかで誰もが沸き立つ行事です。運動会では、たくさんの成長の種がまかれます。特に6年生にとっては、最後の運動会であり、自分のことだけではなく、下級生や学校全体を考えた最上級生としての最大の見せ場です。またそれに続く4・5年生も頼もしくなっていくと思います。そして、全児童に共通するめざす姿があります。

短距離走では、落ち着いてスタートし、全力で走り、ゴールを目指す。(ノーフライング)

リレー種目では、互いに協力し、スムーズなバトンパスを行い、個以上の力を出す。(ナイスバトン)

表現種目では、演技や隊形をおぼえ、(友達と合わせ)かわいらしく美しく迫力ある表現をする。

これらに加えて、「他学年の競技・演技を観る」「友達を応援する」「勝ち負けを受け入れる」「大会役員としての責任を果たす」等々。この運動会でまかれる成長の種とチャンスは無限にあります。それら一つ一つが大切な成長のミッションなのです。保護者の皆さんは参観のチャンスは1回きりですが、運動会への道のりの中で、お子さんの日々の葛藤と向き合うこととなります。運動会で子供は勝手に成長するわけではありません。前向きな会話が日々飛び交えば安心ですが、不平・不満や悩みとも向き合っていただきます。子供が成長する種に、水や肥料を与えてやるのが大人です。運動会の取り組みでの会話を大切に、プラスの声を共に喜び、マイナスの感情にしっかり寄り添いながら、「その思いが、自分を成長させるチャンス」、「物事に全力で立ち向かい乗り越えるチャンス」、「その年の運動会は1回きり」等、ぜひ明るく前向きな「水やり(支え)」をお願いいたします。そして、本番の時、その子なりの成長を共に喜び合ってください、また次へのステップへ背中を押していただければと思います。



私たち大人のミッションは、「まかれた種に成長をうながす水と肥料を与えること」だと思います。御理解と御協力よろしく申し上げます。

本年度児童会運動会スローガン

挑戦・協力・笑顔 つなぐよバトン ゴールまで

※午前中での開催ですが、体協の御協力により「十五夜踊り・エイサー」の前後(10:00 すぎ～ 11:00 ごろを予定)に地域種目も行います。